

汎用機では できない作業効率

延助IIIは延線・架線・索道などの作業を実施するため開発された産業用ドローンで、**機内搭載機**となる「2つの送信機で1台の機体を操縦する2オペレーション仕様」を標準装備しています。推進力のあるモーターと強固なフレームにより、気象条件に左右されることなく、初心者でも安心して迅速に作業を実施できます。延助IIIは国内で生産され、高性能GPS、気圧センサー、位置確認システム、安全システムを搭載し、誰でも簡単に正確な作業が可能です。



余裕のある作業を

延助IIIは最大で150N(15kg)の力で牽引することができ、突風が吹いても機体は流されことなく、33インチの大きなプロペラで力強く目的地まで作業を遂行します。飛行速度は約15~20km/時で、500mを約90秒で牽引します。電動切離し装置を搭載し、送信機のスイッチ1つで線材をピンポイントで切り離します。機体に人が近づく必要がないので、安全かつスピーディな作業が実現します。



作業効率
10倍以上

驚異的な速さと 正確性の2オペ

延助IIIは機体1台に対して、2台の送信機で操縦を行います。オペレーターを出発地点、サブオペレーターを目的地に配置し、中間地点に到達するとスイッチ操作で操縦権を瞬時にサブオペレーターに移行させ、目的地への飛行を再開します。2オペレーションを運用することで、カメラや自動操縦では困難な狭小な場所への延線を容易に行うことができます。また全て目視内で操縦することにより、安全性を確保して迅速に作業を遂行できます。

nobisuke III



安全対策機能を装備

バッテリー残量が少なくなると、送信機が音と振動を発生し操縦者にお知らせします。オペレーターとの通信が途絶えた場合、自動でサブオペレーターの操縦に切り替わります。ある一定の操作により、操縦権を強制的に切り替えることが可能です。両方の送信機と通信が途絶えた場合、機体は線材を切り離し離陸地点に自動着陸します。切離し装置が作動しない場合、装置ごと切り離す緊急リリリース機能を搭載。